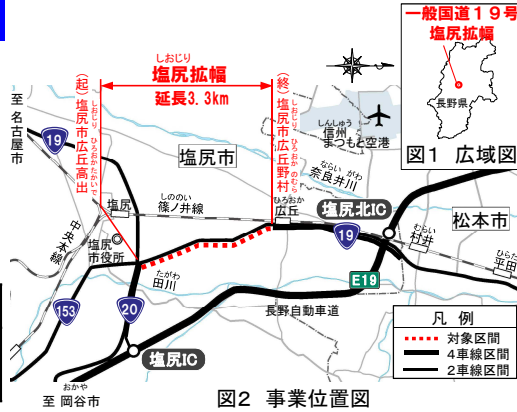


一般国道19号 塩尻拡幅に係る新規事業採択時評価

- 当該区間整備により容量を確保し、幹線道路の速達性が向上
- 速度低下に起因する交通事故の減少、狭隘な歩道の解消により、周辺地域の安全性が向上

1. 事業概要

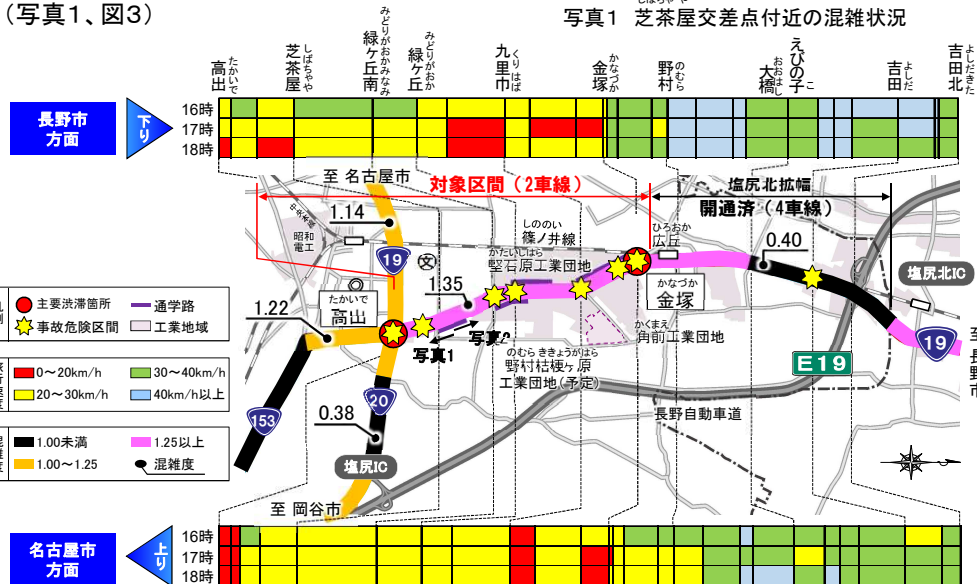
- 起終点：長野県塩尻市広丘高出
～長野県塩尻市広丘野村
- 延長等：3.3km
(第4種第1級、4車線、設計速度60km/h)
- 全体事業費：約310億円
- 計画交通量：約31,600～約46,700台/日



2. 課題

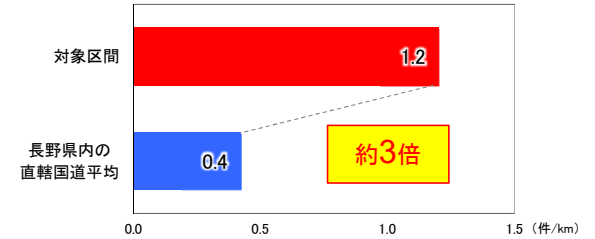
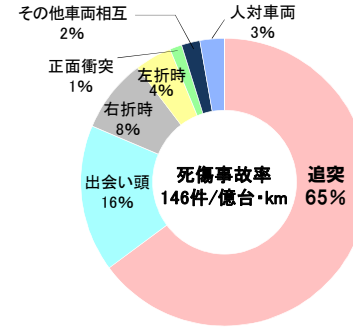
① 交通混雑により円滑な走行に支障

- 当該区間は、塩尻IC、塩尻北ICにアクセスする道路。対象区間のみ2車線でボトルネックとなり、工業団地周辺や幹線道路との交差点を中心に夕方ピーク時に速度低下が発生。
(写真1、図3)



② 追突事故及び狭隘な歩道による歩行者事故が多発

- 当該区間の死傷事故率は、長野県内直轄国道平均(57.0件/億台キロ)の約3倍の146.2件/億台キロと非常に高い状況。
- 事故類型では、著しい速度低下に起因する追突事故の割合が約7割を占め、安全性に課題。(図4)
- また、通学路に指定されている区間が存在するが、歩道が狭く歩行者事故が多発。(写真2、図5)



3. 整備効果

効果1 幹線道路の速達性向上【◎】

- 当該区間整備により容量を確保し、幹線道路の速達性が向上。

○混雑度(約4割減少) ○混雑時平均旅行速度(約4割向上)

【現況】1.35 ⇒ 【整備後】0.66～0.97 【現況】20.4km/h ⇒ 【整備後】29.1km/h

出典：現況(H27全国道路・街路交通情勢調査)、整備後(将来交通量推計結果より算出) 出典：現況(H27全国道路・街路交通情勢調査)、整備後(将来交通量推計結果より算出)

効果2 周辺地域の安全性向上【◎】

- ボトルネック解消により、速度低下に起因する交通事故が減少し、安全性が向上。
- 歩道の狭隘区間解消により、通学路として利用する小中校生など歩行者の安全性が向上。

○死傷事故率(約1割減少) 【現況】146件/億台・km ⇒ 【整備後】126件/億台・km

出典：現況(交通事故総合データベース(H28-R1))、整備後(将来交通量推計結果より算出)

■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.7	6.6%	215億円※2	356億円※2

※1：EIRR：経済的內部收益率
 ※2：基準年(R3年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率：4%)

しおじり 一般国道19号 塩尻拡幅に係る新規事業採択時評価



凡例	
	対象区間
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	主要渋滞箇所
	事故危険区間
	交通量 (H27全国道路・街路交通情勢調査)
	市街地
	工業団地・工業施設
	準工業地域・工業地域 工業専用地域
	市町村境界線
	車線数 (2車線/4車線)

